



連携支援だより

平成29年12月13日
横浜市立浦舟特別支援学校
連携支援部 第3号

秋の気配を感じることなく、あっという間に冬の寒さになり、急激な気温の変化に、お子さんたちの体調管理も大変だったのではないのでしょうか。

浦舟特別支援学校は横浜市立で唯一の病弱教育を行う特別支援学校です。
浦舟特別支援学校を市内の先生方に知っていただく手がかりとなるような情報を、連携支援だよりを通じてお届けしています。

今回、11月24日（金）に実施した、第2回の研修会についてご紹介します。

昨年と同様、横浜市立市民病院神経精神科 心理療法士 土屋真弓氏をお招きし、「心理療法士から見た医療と学校との連携の在り方」をテーマに、ご講演いただきました。

【講演内容について】

○どんな症状があって受診しているか

不登校、身体愁訴（頭痛吐き気、腹痛、悪心、めまい、ふらつき）、強迫症状、頻尿、怒りのコントロールの難しさ、かんしゃく、解離症状、抑うつ、気力の低下、希死念慮、不安感、問題行動（嘘をつく）、心因性痙攣等

○症状のベースに何があるのか

発達障害なのか（服薬が必要な場合とそうでない場合、環境調整、スキルトレーニング等をみていく）、虐待なのか（児童相談所と連携、症状があれば服薬を）、薬物なのか（そうであれば施設に）、精神病なのか（投薬、必要があれば入院）

○どういう経路で心理士にであったか（市民病院の場合）

- ・当院小児科から、精神科医から、学校カウンセラーから、市民病院の思春期・青年期相談からと様々な経緯がある。

思春期・青年期相談 ・・ 小学校高学年から大学生位にあたる年齢の方を対象として、本人に受診の意思のないものの家族が精神科受診を考えている場合、カルテを作ることなく受診の必要性などにつき臨床心理士によるアドバイスを受けることができる。

（予約制：1回4320円 基本的に1回限り）

○どういう検査がされているか

- ・自閉症の疑いの場合→知能検査+AQテスト+心理テスト
- ・ADHDの疑い→知能検査+AQテスト+コナーズ3
- ・適応障害・精神病・うつ病・不安神経症の疑い→知能検査+心理検査 が行われている。

○どのような治療方針になったか

- ・服薬 精神症状がある場合は継続通院となり場合により服薬もある。神経科を受診することも全員が医療の対象になるわけではない。
- ・環境調整 特に小学生は環境調整が重要。環境を整えていくだけで変わっていく。環境に依存している部分が多い。（席を変える、順番を変える、違う係にする、クラス編成を配慮する等）
発達障害児には環境調整が重要である。（個別に声かけ、指示を紙ベースで出す、絵やボードを利用する等）

- ・個人のカウンセリング、もしくは親へのガイダンス
- ・経過観察。様子見をし、成長を見守る



○学校との連携について

実際に受け持った児童生徒の様子から、検査を行った場合、検査後

- ①検査結果をもらう②担任から心理士へ返事を書く③保護者面談の前に連絡をする等

○心理士が学校に期待する事

- ①ドロップアウトさせない、頑張って何かを達成させる。小学校、中学校の卒業を目指し、少しでもゴールに近づけるように登校刺激をする。*完全に不登校の場合は例外
- ②児童・思春期にやらなくてはいけない課題を意識する。(この年代でしなければいけない経験をさせること。集団活動、仲間作り、そして勉強。)年齢相応の経験をどのくらいしてきたかが大切。
- ③配慮は必要だが特別扱いはしない。(配慮と特別扱いは違う)
具体的な例を基にお話しいただき、大変わかりやすかったと好評でした。

<ニュース>

朝日新聞に、本校で行った八景島シーパラダイス、よこはま動物園ズーラシア職員によるVR(バーチャルリアリティ)の授業の様子、また、本校OBによる院内学級でのダンスの授業の様子が掲載されました。

朝日新聞デジタルには、「院内学級」で検索をかけますと動画でその様子が再生できますのでもしよろしければご覧ください。



<研修会の予定>

*第3回 「病弱教育と人権」 病弱教育の全国的な流れと本校の取組

日時： 2月 2日(金) 15:30~16:45

講師：横浜市立浦舟特別支援学校 校長 長岡利保

意外と知られていない病弱教育について、全国的にどのように行われているか、また本校の取組の様子、医療との連携の具体的な様子などをお伝えする予定です。

病気の子どもたちから学ぶ人権教育について、ともに考えてみたいと思います。

後日詳しくご案内させていただきます。YCAN 研修受講システムでの申込みです。

病気等が理由で、欠席が長く続いているお子さんや登校が難しいお子さん、市内の病院に入院しているお子さん、病気に対する配慮が必要なお子さんについて、教育相談を受付けています。

保護者からの教育相談も受付けています。

そのような場合はぜひ、保護者にご紹介ください。

担当：浦舟特別支援学校 特別支援教育コーディネーター 荻野 TEL243-2624

***お手数ですが、貴校全教職員に回覧してください。**